平成３１（２０１９）年度　熊本県立人吉高等学校　定時制　シラバス

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	２	開講学年	３学年

学習概要および学習目標	科学と人間生活で取り扱った生物分野を踏まえた上で、生物学的な事象について、日常生活や社会との関連を図りながら生命現象や生態系の成り立ちへの関心を高め、目的意識を持って観察・実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

期間	単元（学習内容）	学習の到達目標	自己評価欄
１学期期末まで（１５時間）	１章　生物の特徴 １節　生物の多様性と共通性 ２節　細胞とエネルギー	●様々な生物の比較に基づいて、生物は多様でありながら共通性を持っていることを見出して理解できた。 ●生物の共通性と共通の祖先を関連付けて理解できた。 ●光合成や呼吸などの代謝とＡＴＰを関連付けて理解できた。	取組　ＡＢＣＤ 理解　ＡＢＣＤ 関心　ＡＢＣＤ
２学期中間まで（１４時間）	２章　遺伝子とその働き １節　遺伝情報とＤＮＡ ２節　遺伝情報の分配 ３節　遺伝情報とタンパク質の合成	●ＤＮＡの構造に関する資料に基づいて、塩基の相補性とＤＮＡの複製を関連付けて理解できた。 ●遺伝情報の発現に関する資料に基づいて、ＤＮＡの塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列との関係を見出して理解できた。	取組　ＡＢＣＤ 理解　ＡＢＣＤ 関心　ＡＢＣＤ
２学期期末まで（１３時間）	３章　生物の体内環境とその維持 １節　体内環境 ２節　体内環境の維持のしくみ	●体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見出して理解できた。 ●体内環境の維持のしくみに関する資料に基づいて、体内環境の維持とホルモンの働きとの関係を見出して理解できた。 ●体内環境の維持を自律神経と関連付けて理解できた。	取組　ＡＢＣＤ 理解　ＡＢＣＤ 関心　ＡＢＣＤ
３学期期末まで（１２時間）	３章　生物の体内環境とその維持 ３節　免疫 ４章　生物の多様性と生態系 １節　植生と遷移 ２節　気候とバイオーム ３節　生態系と物質循環 ４節　生態系のバランスと保全	●免疫に関する資料に基づいて、異物を排除する防御機構が備わっていることを見出して理解できた。 ●植生の遷移に関する資料に基づいて、遷移の要因を見出して理解できた。 ●植生の遷移をバイオームと関連付けて理解できた。 ●生物の種多様性と生物間の関係性を関連付けて理解できた。 ●生態系の保全の重要性を認識できた。	取組　ＡＢＣＤ 理解　ＡＢＣＤ 関心　ＡＢＣＤ

使用教材 参考図書	高校生物基礎新訂版（実教出版）
学習方法	①授業を受ける前に教科書をしっかり読んでおくこと。 ②疑問点（詳しく知りたいと思った所やよく理解できなかった所）に印をつけておくこと。 ③疑問点の解決を目指し授業に参加すること。 ④授業で作成したノートを使って、その日のうちにその日の授業の流れを思い出すこと。
評価方法	①毎時間の「学習プリント」、「まとめプリント」、「出席状況」を成績に入れます。 ②実験時の「実験に取り組む態度」、「実験操作」、「実験結果の考察」を成績に入れます。 ③単元ごとに行う「単元テスト」の結果を成績に入れます。 ④単元ごとに課す「レポート」を提出してもらい、内容に応じて成績に入れます。 ⑤毎学期の「定期考査」の結果を成績に入れます。